

技術士だより

—(社)日本技術士会九州支部・九州地方技術士センター 秋季号<第8号>(平成2年11月5日発行)

◇巻頭言



心を新たに

原井 東男 (九州支部・副支部長)

年も改まり、各位にはご健勝にて新年を迎えられたことと拝察申し上げ、ご同慶に存じます。平素より、支部・センターの運営につきまして多大のご協力をいただき改めてお礼を申し上げます。

お陰様にて、会員も年々増強の一途を辿り、支部・センターが行う諸行事においても、活性化の兆しをひしひしと感じるこの頃となって参りました。また、受験対策講座の成果も上がり、二次試験合格者は年々増加する傾向へ転じ、誠に喜ばしく存じております。

「技術士だより」も第7号を発刊する運びとなり、回を重ねるごとに内容も豊かに充実して参りました。これも偏に会員各位の会を愛する気持ちの表れと感謝いたしております。

「継続は力なり」・「数は力なり」・「協調は力なり」。年頭発刊号の巻頭言として各位のご理解を賜りたい。

新年に当り、「心豊かに・人間を愛し・一生を意義深く生きたい」と心を新たにしたところでございます。

各位のご発展とご健勝を祈念いたします。

❖ 私の提言 「卒業証書ではない」

森下 明憲 (電気・電子部門)

私が技術士の試験に挑戦したのは、昭和57年から60年にかけてであるが、その間、先輩技術士の先生方に多くのご指導をいただいた。そのとき最も印象に残っているのは「合格は入学許可証であって卒業証書ではない」という言葉であった。技術士の資格は取得するのも難しいが、取得後はその名に恥じないために合格前より“技術の研鑽”につとめなければならない、という主旨のものであった。

このことが印象に残っており、幅広い技術の習得ができることを期待し、合格したその年に日本技術士会に入会した。入会後は、毎月、研修会の案内が来るのでできるだけ参加するように心掛けていた。しかし、参加しようと思っても申し込みが遅くなると、定員オーバーで「断り」の連絡がある。このことは、会員の皆さんが“技術の研鑽”に熱心であることの現れであると思える。

さて、九州支部でも部会の発足が計画され、建設関連では部会の設立をみたが、機械・電気関連では準備委員会の設立に終わった。

部会の設立は、技術士会の活性化の1つの方法であるし、会員各位の“技術研鑽”もできるものと期待される。しかし、単に部会を設立しただけで、「活発な活動」がなされなければ効果はない。活発な活動をするためには、部会に所属する会員の方々の協力が不可欠であり、部会の運営方法などについて納得いくまで話し合いをする必要があると思う。いずれにしても、時間の制約や費用の障害に勝る“技術の研鑽”ができる部会であるなら活況を呈すると思える。

最後に、私も一日も早く「卒業証書」がもらえるよう日夜研鑽に励みたいと思っています。

..... (1)

1人でも多くの入会をお勧め下さい

日本技術士会近況

1. 平成3年度事業計画(案)について

(社)日本技術士会の平成3年度事業計画(案)が、去る1月18日平成2年度第5回理事会に提案審議の結果採択された。その大要は、わが国の経済はひきつづき拡大成長過程にあり、好況のうちに推移し、国民生活の水準は、着実に向上している。しかし、一方では、地球環境の問題、中小企業の人材不足、エネルギーの供給不安等、今後の経済発展に不安をなげかけている問題も少なくないとし、最後に、経済社会の動向を技術側面からみると、全般に高度化が進む一方、単一分野の技術的対応では解決が不可能となり、多分野の技術の総合的対処が強く求められているといえよう。

これらの状況は、技術士活動に明るい見通しを与えるとともに、本会の事業活動に前進への意欲を起こさせるものである。

このような背景認識のもとに、平成3年度事業運営にあたっては、その基本的かつ長期の方針を、年来の

- 第一 会員の増強
 - 第二 技術士の能力の向上
 - 第三 技術士の業域の拡充強化
- と定め、この基本方針の下に
- 第一 技術士制度の普及
 - 第二 技術士業務の開拓
 - 第三 技術士のパーソナルデータの整備
 - 第四 会員技術士の本会活動への参加促進
- を当面の主要課題として、前年度の成果を十分に活かしつつ、事業の総合的な遂行に積極的に取り組んでいくこととする。

また、指定試験機関及び指定登録機関としての本会の事業については、技術士試験の広報に努めるとともに、最高級技術者の国家制度に関する事務にふさわしく、迅速、正確、公正を旨として、事業の実施にあたる事とする。

2. 平成3年度役員選挙について

(社)日本技術士会の平成3年度役員選挙実施に当っては、(社)日本技術士会の定款及び同細則により、下記要領によることが1月18日の理事会において決められた。

<以下抜すい>

◎役員選挙

- (1) 平成3年度において選挙すべき役員の数
は、理事30名、監事3名とする。ただし各支部及び部会より推薦のあった理事及び監事のそれぞれの総数が、上の数に満たないときはその数をもって平成3年度において選挙すべき役員の数とする。
- (2) 役員選挙の事務については、事務局がこれを行う。
- (3) 事務局は、役員選挙の投票用紙を4月22日(月)までに各会員に到着するよう発送する。
- (4) 細則第8章第40条の役員投票の締切日は5月22日(水)とし、同日12時まで事務局に到着したものを有効とする。
- (5) 投票結果の開票及び集計を5月22日(水)13時から行う。
- (6) 次期、会長・副会長等を予め内定するため、次期役員による会議を5月27日(月)に行う。

◎役員選挙管理委員の選出

- (1) 支部長及び部会長は、当該支部及び部会の中からそれぞれ役員選挙管理委員1名を選出し、3月20日までに事務局長に文書をもって通知する。
- (2)~(4) 省略

◎役員候補者の選出

- (1) 細則第8章第36条第1、2、4、5の各項の規定に基づいて、支部長及び部会長は、それぞれ役員候補者を、3月20日(水)までに事務局長に文書をもって通知する。
(次ページにつづく)

（社）日本技術士会近況 つづき

2) 役員候補者の推薦は、次の支部及び部会が行うものとする。

北海道、東北、北陸、中部、近畿、中・四国、九州の7支部
 機械、船舶（航空・宇宙部門を含む）、電気・電子、化学、繊維、金属、資源工学、建設、水道、衛生工学、農業・生物工学、林業、水産、経営工学、情報処理、応用理学の16部会

3. 平成2年度技術士第一次試験について

平成2年度技術士第一次試験については、受験申込者 3,521名（うち受験者 2,253名）に対し、10月14日に全国8ヶ所（札幌、東京、大阪、福岡、名古屋、仙台、那覇、新潟）で試験を実施した結果、698名が合格者として決定されました。

前年との比較は下表のとおりです。

	2 年 度	前 年 度
受 験 申 込 者 数	3,521 人	3,220 人
受 験 者 数	2,253 人	2,068 人
合 格 者 数	698 人	818 人
申込者数に対する合格率	19.8 %	25.4 %
受験者数に対する合格率	31.1 %	39.6 %

4. 第7回中小企業問題研究・懇談会開催のご案内

- 主 催 (社)日本技術士会
- 後 援 科学技術庁
- 協 賛 中小企業事業団・埼玉県ほか
- 日 時 平成3年2月15日(金)
- 場 所 川口総合文化センター
- 参加費 1人 5,000円(懇親会費含む)
- 申込み問合わせ先 (社)日本技術士会

5. (社)日本技術士会会員数

	4,732名(12月末現在)
内訳	
会 員	3,910名
準会員A	98名
準会員B	724名
他に	
賛助会員	169社

(社)日本技術士会近況 おわり

技術士会九州支部・九州地方技術士センター
 『 行事・会合などの報告』

1. 第3回常任幹事会

日時：平成3年1月26日(土) 13:00~16:00

場所：福岡市 博多第一ホテル

議案：(1)「技術士だより第6号」私の提言について

(2)支部・センター及び常設委員会の四半期行事について

(3)第26回支部・センター定時総会に関わる日程について

(4)支部・センター第14期(平成3年~4年)役員について

(5)その他(報告事項を含む)

2. 第3~第6各部会の会合日時について

第5回総務委員会において、第3~第6各部会の会合日時を下記の通り決定しました。所属する会員の方々の、万障繰り合わせご出席をお願いします。

(1) 第4部会(水道・衛生工学部門)

第5部会(農業・林業・水産部門)

日時：平成3年2月9日(土) 13:00~16:00

場所：博多第一ホテル

(2) 第3部会(化学・金属部門)

第6部会(経営工学・情報処理部門)

日時：平成3年3月2日(土) 13:00~16:00

場所：博多第一ホテル

(後出の総務委員会報告を参照下さい)

（支部・センター行事・会合報告つづき）

3. 平成2年度会員研修会・新合格者祝賀会

平成2年度支部・センター会員研修会及び平成2年度技術士第一次・第二次試験合格者実務研修会終了後、新合格者の門出を祝い会員との懇親をかね、祝賀会を平成3年2月23日(土)13時～19時、福岡商工会議所で開催致します。多数の会員のご参加をお願いします。

（後出の研修委員会報告を参照下さい）

4. 平成2年12月10日、財団法人北九州国際研修協会設立10周年記念式典において、当日本技術士会九州支部が、研修員受け入れ機関としてお世話になったとして感謝状をいただきました。

当九州支部及び支部会員が積極的に、財団法人北九州国際研修協会の主旨を理解協力して、発展途上国の研修員の技術研修を実施中で、現在下記の研修コースを開講しております。

- (1) 産業環境対策コース
- (2) 産業機械の設計製造保全コース
- (3) 油圧とその応用コース

（行事・会合などの報告 おわり）

支部・センター委員会・部会だより

◇ 郷 総務委員会(水上委員長)

1. 第5回総務委員会

日時：平成3年1月12日(土)13:00～16:00

場所：博多駅東2-1-27 博多第一ホテル

議題：

- (1) 部会（第3～第6部会）結成について
平成2年10月に第2部会が発足したが引き続き残りの部会を早急に発足させること。

- (2) 会員名簿作成について

平成3年度の名簿原案作成について

2. 第6回総務委員会

日時：平成3年1月26日(土)16:00～17:00

場所：博多駅東2-1-27 博多第一ホテル

議題：

- (1) "技術士だより" 冬季号(第7号)の編集について

3. 第4・5部会の集い

日時：平成3年2月9日(土)13:00～16:00

場所：博多駅東2-1-27 博多第一ホテル

議事：

- (1) 第4部会(水道・衛生工学部門)
第5部会(農業・林業・水産部門)
の発足について

- (2) 役員選任について

- (3) 当面の運動方針について

4. 第3・6部会の集い

日時：平成3年3月2日(土)13:00～16:00

場所：博多駅東2-1-27 博多第一ホテル

議事：

- (1) 第3部会(化学・金属部門)
第6部会(経営工学・情報処理部門)
の発足について
- (2) 役員選任について
- (3) 当面の運動方針について

◇ 郷 試験委員会(政野委員長)

1. 平成3年度技術士第二次試験

受験申込書記載方法 説明会

受験申込書の記載方法についての説明会を管内8地区において、例年通り実施します。

福岡地区では、福岡商工会議所において、3月9日開催することに決定しました。

他の7地区においても、地区代表幹事のご協力により、3月中旬までに開催される予定です。

2. 平成2年度 技術士試験総括

(1) 技術士第二次試験(福岡会場)

受験申込者 1,274名

筆記試験合格者 140名 合格率9.4%

口頭試験合格者 130名(1月31日発表)

従事した試験監督員 30名(訃事務局)

(次ページにつづく)

（支部・試験委員会一つづき）

(2)技術士第一次試験（福岡会場）

受験申込者 382名
試験合格者 68名 合格率 17.8%
従事した試験監督員 11名（訃事務局）

協力していただいた、監督員の皆様に感謝いたします。

◇郷・事業委員会（笠木委員長）

1. (株)日本技術士会九州支部主催
第3回九州地方公共団体職員と技術士との
合同セミナー
日時：平成2年11月13日（火）
場所：宮崎市 ホテルメリディアン
（詳細は後述の行事報告をご覧ください）

2. 技術士業務研修会
センター・活性化委員会との共催で開催。
日時：平成2年12月6日（土）13:00～18:00
場所：福岡市 セントラルホテルフクオカ
（詳細は後述の行事報告をご覧ください）

◇センター・受験対策委員会
（町田委員長）

平成3年度第二次試験受験対策講習会

(1)第1回受験対策講習会
日時：平成3年4月20日（土）9:00～17:00
場所：福岡商工会議所604, 605号室

(2)第2回受験対策講習会
日時：平成3年6月8日（土）9:00～17:00
場所：福岡商工会議所604, 605号室
日時：平成3年6月9日（日）模擬試験
場所：福岡商工会議所604, 605号室

(3)第3回受験対策講習会
日時：平成3年7月27日（土）9:00～17:00
場所：福岡商工会議所604, 605号室

(4)第4回受験対策講習会
日時：平成3年11月16日（土）9:00～17:00
場所：福岡商工会議所604, 605号室
筆記試験合格者を対象とした
口頭試験対策指導

◇センター・石開修委員会（矢野委員長）

1. 会員研修、技術士・技術士補新合格者の
研修会及び合格祝賀会開催について

☆日時：平成3年2月23日（土）

○研修 13:00～17:00

○祝賀会 17:00～19:00

☆場所：福岡商工会議所（TEL 441-1111）
福岡市博多区博多駅前2-9-28（博多駅西口、博多駅より徒歩8分）
○会員研修 605号室
○新合格者研修 604号室（機士）501号室（機士補）

☆会費

○研修 既会員及び新合格者で入会
予定者は無料

○祝賀会 既会員 2,000円（1/2個人鮫）
新合格者 4,000円（実費）

☆会員研修

(1)コンクリート構造物の劣化診断と対策・処置
講師 ショーボンド建設機技術本部
内藤 誠一 先生

(2)鋼板の防錆限界への挑戦・開発の現況
講師 (株)神戸製鋼所 鋼板開発部
野村 伸吾 先生

(3)産業ロボットの現状と将来
講師 (株)安川電機製作所ロボット事業本部
柴田 征彦 先生

※会員研修及び祝賀会に、出来る限り多数の
参加をお願いいたします。

☆技術士新合格者研修

(1)個人技術士としてやって行くにはどうす
ればよいか 講師 未定
(2)国内企業の融合化と海外戦略に対応する
技術士のあり方 講師 未定
(3)生き甲斐を創出する技術士の役割
講師 未定

☆技術士補新合格者研修

(1)技術士補から技術士へ向けて
・技術士第二次試験の仕組みと試験の最近
の状況
・技術士補業務に対する指導技術士斡旋等
について
(2)技術士になるための研修方法
・技術士に不可欠な基本的能力、技術士第
二次試験に合格するための研修方法
以上(1)、(2)の講師 矢野友厚、町田貞徳、
久保田信一 の3先生

.....
(支部・センター委員会・部会だよりつづき)

◇センター活性化委員会
(江崎委員長)

1. 活性化委員会・懇談会開催について
日時：平成3年2月16日(土)13:00~16:30
場所：未定(後日事務局より通知)
出席者：活性化委員、地区代表幹事

◇支部・第2部会
(川崎部会長)

1. 部会員アンケートについて
アンケート集計結果は、別途10~12ページに報告いたしました。

2. 第1回第2部会技術研修会(見学会)

日時：平成3年2月2日(土) 13:00~15:00
集合場所：福岡市 第1合同庁舎玄関前
見学場所：地下鉄空港線工事
研修内容：軟弱地盤に挑む都市NATM
(九州地区の都市部では初めて)

協力会社及び現場説明：

前田建設工業(株)、フジタ工業(株)、村本建設(株) 建設工事共同企業体
地下鉄 中比恵西作業所
所長 大串 宗太先生(技術士会会員)

(支部・センター委員会・部会だよりおわり)

.....
* 声の広場 地区活性化だより -6- 佐賀地区

佐賀地区代表幹事(佐賀県技術士会長) 向井 治孝

技術士会の活性化については、本県においても常に検討を加え一部実行に移しています。

活性化については、いろいろの方途が考えられますが、一番の問題は会の組織体系を抜本的に改正することが必要と思われま

す。技術士には、企業者、企業内勤務者、官公庁関係等の職務別、また18の専門部門があるなど種別が多岐に渡っているので活動方針においても、個々にそれぞれの特徴があるので、総論は賛成しても各論になると必ずしも一致せず、活性化の活動が総論的になり勝ちであります。

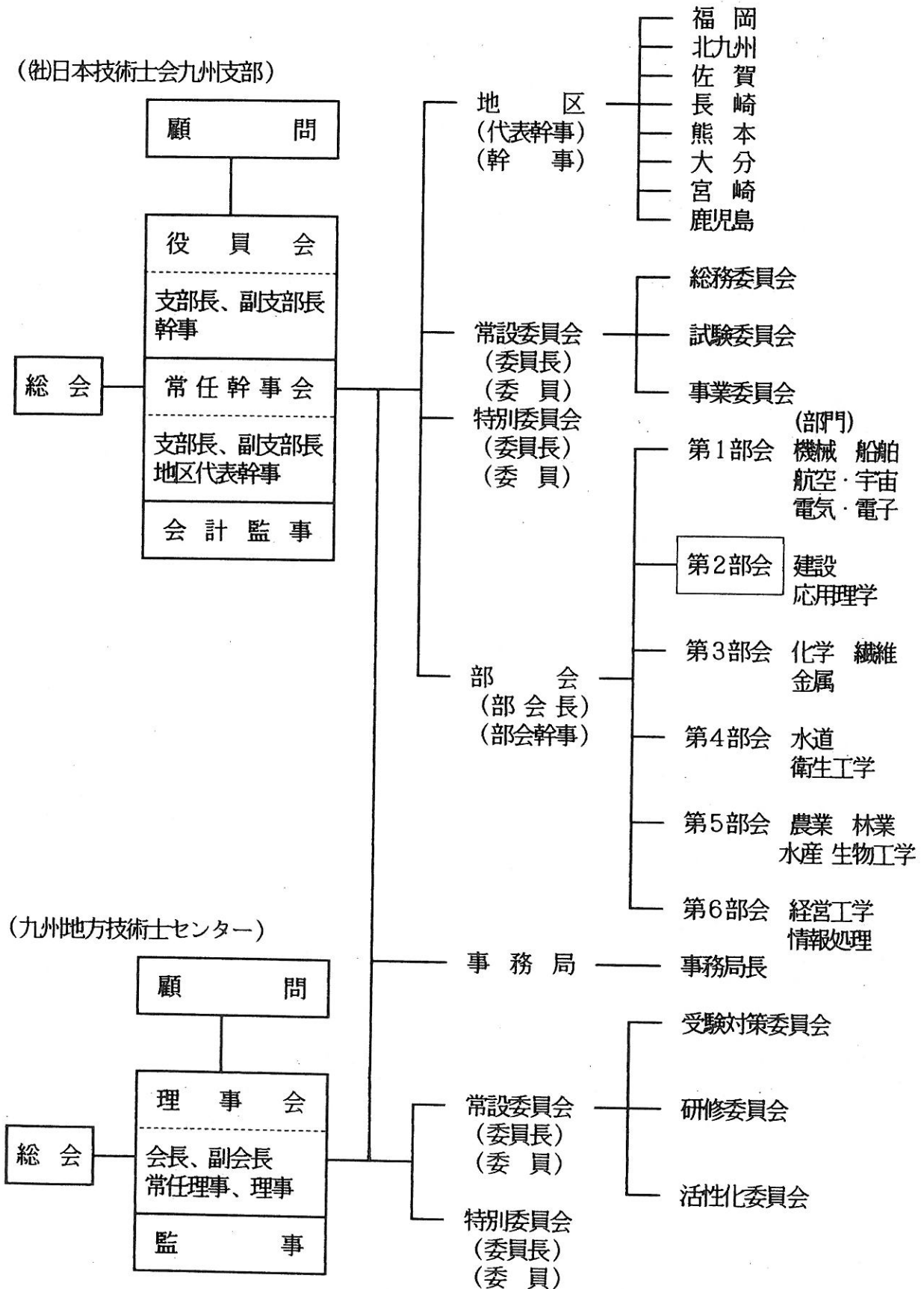
本県の意見としては、会の組織を官民合同型にし、その下部組織に各専門別に部会をおき活動母体とすることが望ましいとしています。技術の研究・開発の基本は官も民も無く、あくまで一体となって対処すべきでありましょう。そうしてその性格を学会型として、技術士試験の合格者は全員会員になるようにします。学会的な権威を高めることにより、自ら活性化を図ることになります。事業として、

官民合同で研究会、研修会、講演会を実施するとともに、21世紀に向けての地球環境の問題、生活環境の問題等、社会が要請するプロジェクトの論文や提言等発表することになります。

このようにすると、技術士会の権威が広く認識されるとともに、会の活性化が図られ社会の要請にも応えられるのではないかの考えであります。

佐賀県では、合格者は全員入会を奨めて佐賀県技術士会を設立し、情報や意見の交換をして交流を深めています。現在、佐賀県には支部会員4名、センター正会員9名、準会員9名です。県内には技術士有資格者が19名ですから支部会員は21%に過ぎません。センター正会員で47.3%、準会員56.2%になっています。入会率がよくないのはやはり構成形態に起因する処が大きいと思います。本県では、今後とも会内の交流を深めるとともに、種々の問題をテーマにして、小研究会や座談会など開催して活性化を進めていきたいと思っています。

（社）日本技術士会九州支部 および 九州地方技術士センター 組織図





行事レポート(1)



日本技術士会九州支部主催

◇第3回九州地方公共団体職員と技術士との合同セミナー 実施報告

支部・事業委員長 笠木 直行

第3回九州地方公共団体職員と技術士との合同セミナーおよび見学会が、平成2年11月13日(火)～14日(水)、宮崎市ホテルメリディアンで、技術士会上田稔会長を迎え、多数の技術士が参加して実施された。

△(5)21世紀のまちづくり「宮崎学園都市」

岡山 義人

(6)コンベンションシティ宮崎の将来像

曾小川久貴

※テーマおよび講師(敬称略)

□テーマII「中小企業を中心とする地域産業の活性化とその事例」

□テーマI「地域の活性化と産業基盤の整備」

(1)宮崎県の基盤整備の方向 越山 達夫

(2)宮崎日南海岸リゾート構想について

安藤 忠恕

(3)「新ひまわりづくり運動」の一視点

田水 達之

(4)テクノポリスの現状と課題 黒岩 正博

(1)宮崎県における異業種交流と産業技術融合化の現状

井出 奎三

(2)ユニークな町づくりに果たした

企業の役割

山下 實

(3)技術士と国際化の波

朝日 輝

セミナー終了後は、来賓・講師を交えてなごやかな交歓のひとときを過ごした。



行事レポート(2)

海外業務研修会記



事業委員長 笠木 直行

国際化の時代にふさわしく、技術士の海外での活躍は年ごとに増加の傾向にあります。

そこで、九州支部事業委員会と九州地方技術士センター活性化委員会は「海外業務に技術士はいかにアプローチすべきか」をテーマに研修会を共催しました。

講師は、国際協力事業団九州支部長・末次輝雄先生をはじめ、実際に海外業務を経験した技術士の諸先生方に依頼しました。

日頃身近に交流している技術士仲間の体験談を聞くことができ、興味つきない研修会となりました。参加者は六十数名でしたが、研修会終了後は引き続き総務委員会主催の忘年会に移り(後述)、和気あいあいのうちに交歓し、会を終了しました。

研修内容は次のとおりです。

◎研修題目 海外業務に技術士はいかにアプローチすべきか

◎日時:平成2年12月6日(木)13:00~18:00

◎場所:福岡市中央区渡辺通り4-1-2
セントラルホテル フクオカ

◎研修内容

○技術士の海外業務

技術士(農業部門)鈴木 清先生

○国際協力事業団(ODA)について

国際協力事業団九州支部 末次輝雄先生

○財団法人海外貿易開発協会(JODC)

よりインドネシアに派遣されて

技術士(機械部門)久保田英士先生

○海外(韓国)業務体験報告

技術士(電気・電子部門)宮本 浩二先生

○ドイツ(ECOS)との技術協力について

技術士(建設部門)黒瀬正行先生

(黒瀬先生急用のため笠木先生が代行)

以上

(行事レポート つづき)

忘年宴会の記
総務委員長 水上 信照

本年度は当支部としては初めての試みで、忘年宴会を企画したところ、60名の出席があり前記の研修会に引続き開かれた。宴は会場いっぱいの出席者で、土居支部長、来賓鈴木清先生の挨拶の後、末次輝雄事業団支部長の乾杯の音頭で始められた。

テーブルスピーチでは、原井副支部長が平成2年度全国大会の報告、引き続き新発足の第2部会長川崎迪一氏の部会長就任挨拶、

政野試験委員長の平成2年度技術士第一次、第二次試験の報告、センター町田受験対策委員長、矢野研修委員長などの業務報告があった。なお会場に準備されていたカラオケは、多数の有志先生の美声で大いに雰囲気盛り上げられました。

出席者からは来年もぜひ企画されたいとの希望意見があった。

土居支部長の音頭で万歳三唱を行い終宴した。

シニア-専門家 -募集-

平成3年1月25日、国際協力事業団九州支部より、当技術士会九州支部にて、標記専門家を募集し、登録を行う制度を設けたとの通知をいただきましたので、会員の皆様にお知らせします。各地区の会合のおり、代表幹事さんからもお話があるかと思えます。

なお、問い合わせ先は、国際協力事業団九州支部(〒812 福岡市博多区博多駅前2-9-28 福岡商工会議所ビル8階、TEL.092(451)3380)ですので、直接お問い合わせ下さい。

<要旨の抜粋>

1. シニア協力専門家とは

シニア協力専門家の派遣制度は、近年ますます増えつつある開発途上国からの技術援助の要請に応えるため、ボランティア精神に富み、かつ幅広い技術・知識と豊かな経験を有した、中高年層の人たちを派遣するために制定されました。

シニア協力専門家は受入国からの要請に基づいて派遣されます。

派遣先の任地では、ボランティア精神に基づき、相手国の人々と密着した“草の根レベル”の交流を大切にしながら、幅広い技術・知識と豊かな経験を活用した技術協力を行うことが期待されています。

2. 登録の手続き (略)

3. 資格

○40才以上70才未満で自発的に参加する意思を有する方

- 人格に優れ、心身とも健全である方
- 開発途上地域の経済社会開発に貢献し得る技術・知識・経験を有する方

4. 指導業種分野

- A) 農林水産; 農業一般、園芸・造園、家畜飼育、林産加工、漁具漁法、養蚕
- B) 法律・経済(略) C) 産業(略)
- D) 自然科学; 気象・地震、生態学、動物・植物学、環境問題
- E) 建設・土木・建築; 都市計画、河川・砂防、水資源開発、測量、建築
- F) 技術・工業; 機械工作、電気機器、鋳業、測量・地図、化学薬品、繊維、食品、染色、電力、エネルギー、木工・皮革他
- G) 運輸・交通・通信; 海運、陸運、鉄道、郵便、電信電話、放送業務
- H) 保健医療・衛生 (略)
- I) 社会・教育(略) J) 文化(略)

5. 選考方法 (略)

6. 研修

- (1) 任国事情; 3~4日間、派遣前、(略)
- (2) 語学; 業務を円滑に行うために不可欠なのは相応の語学力です。自主的な学習には、費用を補助します。(略)

7. 派遣期間

要請ごとに若干の違いはありますが、原則として1年間か、2年間です。

8. 待遇など (略)

以上



第2部会会員アンケート集計結果について

第2部会長 川崎 迪一

昨秋に発足しました第2部会について、会員の声の吸収と会員の関心高揚に資していくことを目的として部会員へアンケートを求めたところ、以下のような結果を得たのでご報告致します。ご多忙中のご協力で謝意を表しますと共に、会員の皆様のご活躍に寄与できるような部会運営のため、十分なご理解とご協力を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

☆回答状況

地区名	福岡	北州	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	不明	計	
発送枚数	42	7	3	9	9	14	6	8	—	98	
回答枚数	記名回答	5	2	1	4	1	4	2	3	—	22
	無記名回答	11	4	2	3	2	3	2	2	2	31
	計	16	6	3	7	3	7	4	5	2	53
回答率(%)	38.1	85.7	100	77.8	33.3	50.0	66.7	62.5	—	54.1	

注：無記名回答者の地区判断は消印郵便局名によった。その内の消印判読不能な2枚については不明欄に示した。

1. 部会の催し事には何を望まれますか。

記号	催し事	福岡	北州	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	不明	計	%
a	見学会	11	3	2	3	3	4	3	1	1	31	58.5
b	研修旅行	2		1	2	1	2	3	3		14	26.4
c	講演会	10	4	1	3		5	2	3	2	30	56.6
d	懇親会	5	1	1	2		1				10	18.9
e	その他	1	1		1		2	1			6	11.3
記入無し											0	0.0
回答項目数	1項目	8	4	1	4	2	2	1	3	1	26	49.1
	2項目	5	1	2	2	1	4	1	2	1	19	35.8
	3項目	2	1		1			2			6	11.3
	4項目						1				1	1.9
	5項目	1									1	1.9

注：①記号 e の具体例について

- ・テーマ討論会、ディスカッション 3名
- ・建設コンサルタント登録者研究会 1名
- ・行政機関との合同セミナー 1名

②記号 d の具体的内容について

- ・忘年会を望む 2名
- ・諸催しに引続く懇談会を望む 3名
- ・一泊旅行を望む 1名
- ・aとcを組合わせた実施を望む 1名

2. 上記の催し事は年間何回位を望めますか。

記号	回数	福岡	北州	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿嶋	不明	計	%
a	2	10	4		4	3	4	3	2	1	31	59.6
b	3	2	1	1			1			1	6	11.5
c	4	3			1			1	3		8	15.4
d	6										0	0.0
e	1		1	2	2						5	9.6
その他	5						1				1	1.9
	12	1									1	1.9
無記入							1				1	—

注：① 平均回数 = 2.6 回

② 平均値算出は加重平均法を採用した。

なお、無記入者は記入忘れとして扱い、平均回数及び表中割合の算出には不算入とした。

3. 構成員についてどのように思われますか。

- a. 現行の技術士会支部会員のみでよい。
- b. 九州地方技術士センターの正会員も加入したがよい。
- c. 同センター準会員（技術士補の方）も加入したがよい。
- d. その他の加入者を望む。（具体的に）

記号	福岡	北州	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿嶋	不明	計	%
a	1	1	1	1	1			2		7	13.2
b	10	3	1	5	1	1	2	3		26	49.1
c	5	2		1	1	5	2		2	18	34.0
d	1					1				2	3.8
記入無し			1							1	1.9
b + c	1	1			1	1				4	7.5
b + d	1									1	1.9

注：① 表下段中の和表示は複数箇所記入者を示す。

なお、c回答者が当然に [a + b + c] の構成を望む趣旨であるため、[b + c] 記入者については上段中にはcへのみ算入した。

② 記号d回答者の具体的意見

- ・非会員の希望参加を認める 1名
- ・具体的関係者のみでよい 1名

4. 当支部部会催し事への他支部会員の参加、即ち本部部会との共催について

- a. 共催を望む。
- b. 共催は不要。
- c. その他 ()

記号	福岡	北州	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	不明	計	%
a	9	4	1	2	1	2	1	3	1	24	45.3
b	6	1	1	3	2	3	2	1		19	35.8
c	1	1	1	2		2	1	1	1	10	18.9

注：① 記号cの内容について

- ・催し事への参加は自由とする。 1名
- ・内容次第で共催。 1名
- ・他部会員の参加希望者を受入れる。 1名
- ・共催と単独を。 2名
- ・いずれでもよい。 1名
- ・他支部との交歓が必要。 1名
- ・意見なし、及び空欄。 2名

② 記号aの内、「実現困難か」の付記。 1名

★投稿を募る★

技術士の主張・賛助会員(会社)の紹介など、技術的または一般的なことでも結構です。積極的な皆さんの投稿をお待ちしております。
(200字詰め原稿用紙2～3枚程度
支部事務局宛)

5. その他の意見・要望

- ・地の利を生かした部会活動を期待したい。 1名
- ・行政機関・発注者側との意見交換等会合を。 4名
- ・技術士のPRを。 1名
- ・中国・韓国との接触を計りたい。 1名
- ・支部行事と部会行事との色分けを鮮明に。 1名

- ・部会名が味気ない。 → (案)建設応理部会 1名
- ・催し事の地方分催を。(注：地域分散か?) 1名
- ・アンケートの集計結果を部会員に示して。 1名
- ・部会の目的を明確にする必要がある。目的があって催し事をどうするかを論議すべきではないか。(原文のまま) 1名
- ・催し事他部会との共催を。 1名

- ・アンケートは無記名で良いのか。 1名
- ・部会費の徴収で会員の意識高揚と役員会議の旅費負担を。 1名
- ・催し事に魅力をもたせる為にかなり思いきった手段を。 1名
- ・相互技術力向上や共同研究にかなう部会の構成を。 1名
- ・支部総会前後に催し事の計画を。 1名

- ・建設省へ「設計歩掛」の改定を要望してもらいたい。 1名
- ・専門技術を並記した会員名簿が欲しい。 1名
- ・まず体製造りが先決と思う。 1名
- ・ご苦労おかけします。 1名

以上



会員ニュース



★(社)日本技術士会 会員及び九州地方技術士センター正会員・福岡地区 支部 幹事・建設部門 永田末広先生 が平成3年1月2日逝去されました。

★(社)日本技術士会 会員及び九州地方技術士センター正会員・福岡地区・経営工学部門 伴 良幸先生 が平成3年1月6日逝去されました。

謹んでおふたかたのご冥福をお祈りいたします。

☆(社)日本技術士会(九州支部)入会

(区分)	(地区)	(氏名)	(部門)
入会	大分	本條 忠應	建設
"	福岡	古川 博	"
"	鹿児島	藤本 啓	水道
"	長崎	川岸 國晏	建設
"	"	(轉) 幸野 茂	"

☆九州地方技術士センター入・退会

(区分)	(地区)	(氏名)	(部門)
入会	福岡	政領 梅野 倫之	建設
"	北九州	" 入江 大	"
"	福岡	" 大澤 正明	衛生工学
"	鹿児島	" 鶴本 總平	建設
"	福岡	" 田原 正清	"
"	鹿児島	" 福満 次夫	建設
"	福岡	" 前田 剛志	"
"	鹿児島	" 後藤 祐一郎	農業
"	福岡	" 小林 正毅	建設
"	北九州	" 里 一男	化学
"	福岡	" 甲斐 忠義	建設
"	"	" 中野 徳	"
"	北九州	" 江畑 賢一	応用理学
"	福岡	" 中原 和典	水道
"	鹿児島	" 竹元 幹生	応用理学
"	福岡	" 横山 健治	建設

退会 熊本 頼久保 道生 農業

-以上、平成2年10月1日~平成3年1月20日 受付順、敬称略-

☆会員勤務先(住所)および連絡先変更

1. 小島 義博 (衛生工学)
勤務先 〒862 熊本市神水1-24-6
建神ビル6階
2. 原田 太郎 (資源工学)
連絡先 〒814 福岡市早良区南庄1-21-3
3. 櫛間 幸徳 (建設)
勤務先 〒802 北九州市小倉北区京町3-14-8 協栄ビル
日本交通技術(株)小倉支店 次長
兼 本社海外技術部 次長
TEL(093)551-2288 FAX(093)511-1594
4. 石田 利夫 (建設)
勤務先 〒810 福岡市中央区大宮2-5-5
(株)近代技術コンサルタント
TEL (092)522-6211
5. 山崎 敬太 (機械)
連絡先 〒816 福岡市博多区諸岡5-27-40
TEL (092)582-6704
6. 松尾 憲一 (機械)
連絡先 〒814 福岡市早良区高取2-17-40-7
7. 佐藤 博 (情報処理)
連絡先 〒822 直方市大字感田1181
8. 宮崎 克己 (農業)
勤務先 〒810 福岡市中央区平尾5-5-7
(株)西研設計 TEL (092)524-0755
FAX (092)524-0670
9. 川岸 國晏 (建設)
連絡先 〒852 長崎市薬山2-50-8
アオイハイツ A101
10. 大内 光徳 (建設)
連絡先 〒742 柳井市柳井1262
琴風住宅7-303 TEL (0820)23-3535
11. 阿武 秀治 (衛生工学)
連絡先 〒731-51 広島市佐伯区五日駅前
2-7-24 岡野アパート203
12. 竹元 幹生 (応用理学)
連絡先 〒891-15 鹿児島市東桜島町463
TEL (0992)21-2457
13. 松本 邦男 (建設)
社名変更 松本技術コンサルタント(株)
平成3年より(住所・TEL変更なし)
(次ページにつづく)

(会員勤務先・連絡先変更つき)

14. 三浦 三郎 (水道)
勤務先 〒812 福岡市博多区博多駅前
1-2-2 西ビル4F
(株)ミズオ建設コンサルタント
TEL(092)473-2177 (会員ニュースおわり)

❁ セミナー開催の ❁
ご案内 — CEクラブ —

このたび、長崎・ドイツデザイン研究会では、産業デザインの権威ステファン・レンジェル博士を迎え「長崎・ドイツデザインセミナー'91」開催します。日本技術士会プロジェクトチームCEクラブは、昨年ドイツとの交流を行っており、今回は技術交流の環境として、このセミナーの後援をすることにいたしました。デザインに関心のある技術士多数の参加をお待ちします。

なお、ドイツのECOS会長メームケン氏も来日し、27日の午後は特に同氏と技術士との懇談会を予定しております。

◎第1部 セミナー 2月27日(午後)
・基調講演 ・コーディネーターによる
質疑応答 ・ウエルカム・レセプション

◎第2部 コンサルティング
(個別に希望会社 4社)

2月27日(水)午前, 28日(木)午前
個別デザイン相談

◎会場 長崎プリンスホテル(長崎・宝町)

◎問い合わせ先 事務局 (株)クラフト
長崎市赤迫町500-94、☎0958(56)2123

◇会誌”技術士”最近号の主要目次◇

☆11月号

・私の技術士業務
専門のない技術士事務所/依田 亮

・研修のページ
繊維への認識 /水野 淳
中小企業と地域の活性化への提言
/倉橋 清昭

☆12月号

・私の技術士業務
技術士人生~これまでとこれから~
/石塚 康司

🦋 新技術支援者紹介 🦋

パーフェクトパイプ

(麻生セメント(株))

不飽和ポリエステル樹脂を結合剤として、充填材、骨材、鉄筋などを遠心力により一体成形したレジンコンクリートヒューム管。

物性の特長は、耐酸性・外圧強度大・曲げ強度大・軸方向圧縮力大・管内面平滑度大等のすぐれた特性を有し、用途面では、下水道管、化学プラント工場排水管等セメントコンクリート管の腐食防止をはじめ、耐海水構造物の保護材としての利用も可能である。

コスト面では、従来のコンクリート、セラミックス製より割高であるが、耐久製の点を加味して評価すれば、長期的には経済的との見方が強い。(特許出願中)

(福岡/経営工学 重富 秀雄)

・研修のページ

最近のたばこ事情 /瀧 元男
日本の技術士に関する問題点と提言
/中村 滋

☆'91・1月号

・私の技術士業務
廃熱利用の人工スキー場計画にかかわって(1) /大塚 政尚

・研修のページ

電力の省エネルギー対策/小坂 宏夫
技術哲学の提唱と技術士会の再構築
/堀 泰明

🦋 編集後言己 🦋

☆ お茶の間で、湾岸戦争が、そしてそのハイテクが見られる時代。科学技術の最先端が兵器になるのはやむを得ないのだろうか。

☆ テレビで殺戮を見る人々が、平気でとまらないうちに、早く終わって欲しいと思う。

発行: (株)日本技術士会・九州支部
九州地方技術士センター
〒810 福岡市中央区大名1丁目
12-61 新天ビル402
☎(092)771-9534
編集: 九州支部・総務委員会